

令和5年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立南部中学校運営協議会長

<本年度の目標>

- ・ 学校運営の基本方針に基づき、南部中学校で育てたい力を知る。
- ・ 生徒の様子、学校の現状と課題を知り、学校運営の力を知る。

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- ・ 南部中生徒の現状について説明があり、令和5年度の学校経営書にもある知・徳・体を基本とした教育目標であることを理解した。
- ・ 生徒の様子、学校の現状については、「体育大会・文化発表会等の新たな取組み」の報告は聞かせていただいたが、「熟議」というやりとりまではできなかったと思う。

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- ・ 二大行事についての報告で、先生方が生徒に貴重な機会を与えてくれたことを理解した。
- ・ 来年度の取組について、改善点の熟議はこれからである。
- ・ 地域として学校活動の支援を積極的に進めていきたい。
- ・ 第1回で不登校、教室に入れないう子の対応についていろいろな意見が述べられ、校外での「まなびの教室」の必要性について熟議できた。
- ・ 第1回で部活動指導の地域移行について、第2回で体育大会・合唱コンクールと2大行事の報告があった。見学した意見を述べたり、他校の取組み例が提示されたりして、生徒の抱える課題については共有できたが、実践につながる熟議はこれからである。

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- ・ 南部中学校教員の生徒を思う気持ちは様々な取組から理解している。「学校運営協議会」の存在意義をできる限り理解し、地元の自治会役員として地元の中学生生徒がのびのび活躍できる姿を見ることができるよう情報発信をしていきたい。
- ・ 次回の協議会では次年度の進め方について議論できるとよいと思う。全員に発言してもらおうということを委員全員が意識して熟議を進めればより充実した会を進めていけると思う。多方面にわたる意見は多く活発的であるが、情報発信に至るにはまだこれから先のことである。
- ・ 協議結果ではないかもしれないが、地区の民生委員児童委員協議会の会合で、委員の立場を活かし、それぞれのネットワークに中学校の行事等の周知を図ることができた。

<評価項目4> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- ・ 第2回で学校支援コーディネーターより、職業体験の際に協力企業を探したお話、体験の内容の報告があった。時間がなく熟議までできなかったが、運営協議会にはいろいろな立場の委員がいるので、協力企業探しを協議会の熟議テーマにしたり、委員に意見を求めたりしても良いと思う。
- ・ 学校教育目標「自分らしくよりよく生きる生徒の育成」他者との関わりの中で共に伸びる活動として、学校外ではあるが、地域のボランティアを行った。瓜内の「子育て支援広場ここみ」での夏休みボランティアは利用者からとても好評だったという報告を受けている。今後は学校内で、授業や部活のサポートなど、地域の人に「日常の学校」にボランティアで入ってもらえるような活動を提案したい。